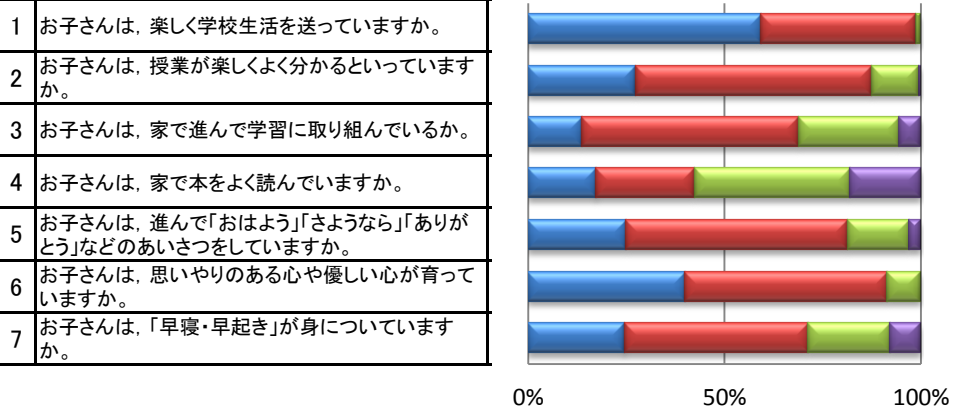


平素は、本校教育推進にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。1月中旬に実施しました学校評価の集計ができました。今回も多くの保護者の方々から回答をいただきました。ほぼ全員の保護者の方々に回答いただき、みなさまの教育に対する関心の高さ、お子さんを家庭・地域・学校が一体となって育てていきたい。という思いを、とても強く感じました。大変ありがたく、心よりお礼申し上げます。

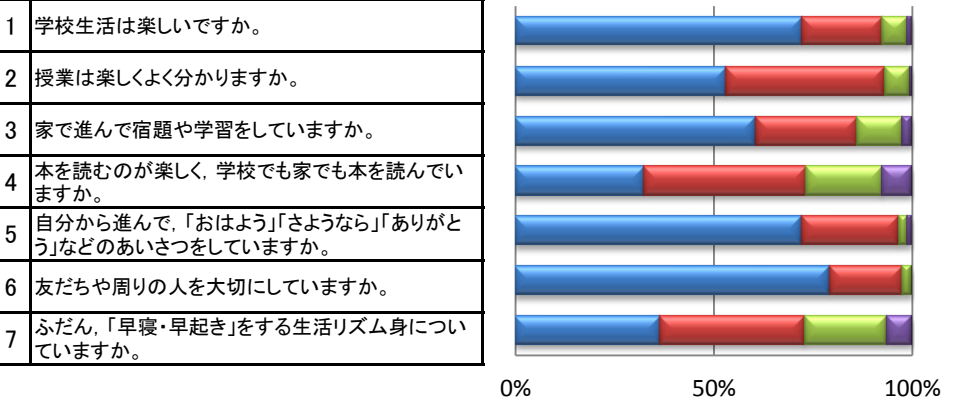
簡単な考察ですが、ご一読いただければ幸いです。



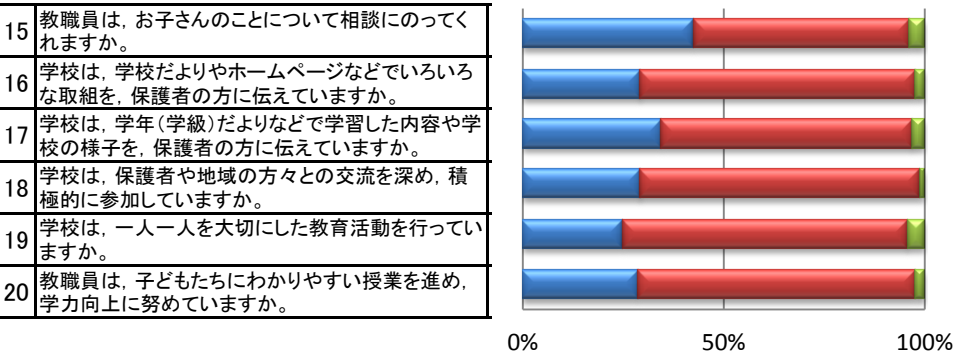
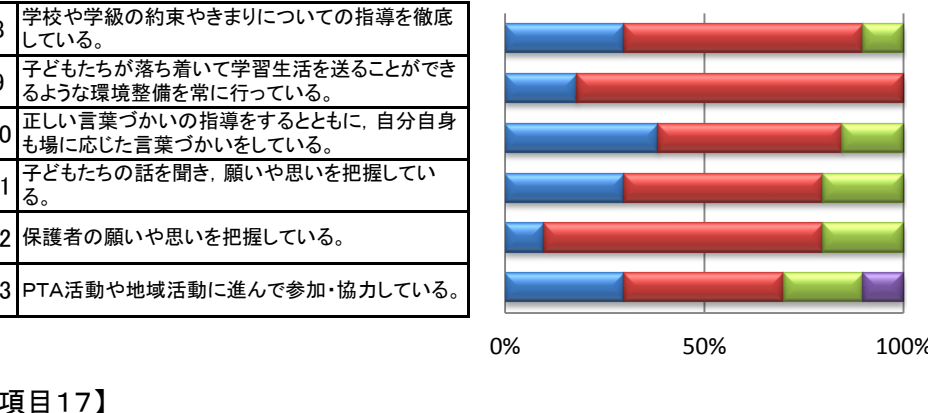
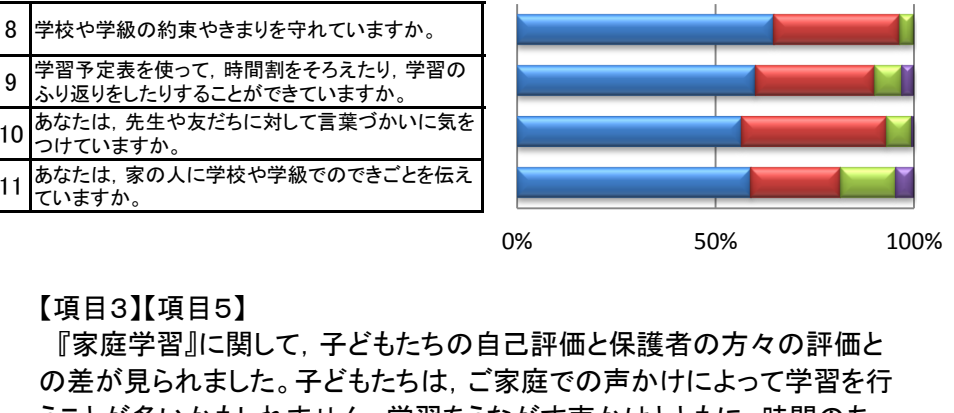
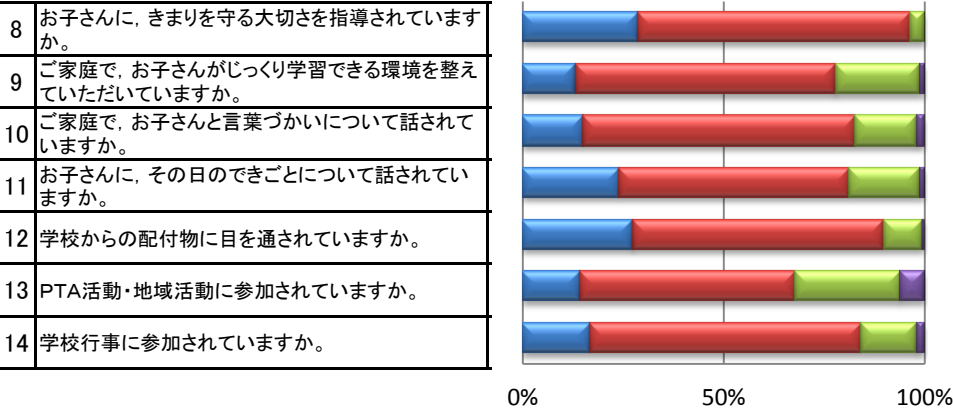
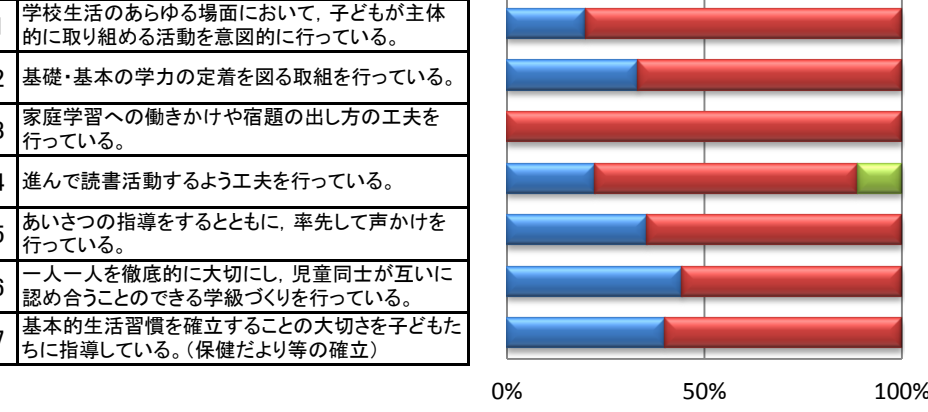
保護者による回答



児童による回答



教職員による回答



【項目1】  
『学校が楽しい』の項目に対して、前回同様約93%程度の子どもが、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答しており、多くの子どもが充実した学校生活を送っていることがうかがえ、大変うれしい結果となりました。しかし、残りの約7%の児童が「どちらかといえばあてはまらない」と答えていました。この7%の児童の思いをしっかりと受け止めなければならないと思っております。

学校ではあらゆる教育活動において、だれもが活躍できるように取り組んでいます。今後さらに児童一人一人をしっかりと見つめ、学校教育活動のさらなる充実を目指し、学校行事の充実・授業の改善、さらには、今以上に子どもたちに寄り添うことができるよう、児童理解に努めていきます。

【項目3】【項目5】  
『家庭学習』に関して、子どもたちの自己評価と保護者の方々の評価との差が見られました。子どもたちは、ご家庭での声かけによって学習を行うことが多いかもしれません。学習をうながす声かけとともに、時間のあるときは、学習しているときの様子を横で見たり、終わった後には、学習したものをしながら、がんばりをほめたりしてください。学校で学んだことをより定着させる場として、家庭での学習が大変重要になります。宿題の出し方を工夫するとともに、中・高学年では、自主勉強(自分でテーマを決めて行う学習)などの充実を図っていききたいです。

『あいさつ』に関しても同様、子どもたちは進んであいさつができています。自己評価をしていますが、保護者の方々とは評価にやや隔たりがあります。あいさつについては「子どもは大人の鏡」とよく言われます。我々教職員の自己評価においても、全員があいさつに関して自信をもって「よくできている」とは言えていません。私たち大人が率先してあいさつをするようにして、誰もが進んであいさつのできる子どもたちを育てていきましょ。


【項目8】  
『きまりを守る』の項目に対して、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童の合計が96%となり、前回の学校評価よりも2%程度増えました。規範意識の向上は、現代における教育的課題の一つでもあり、この項目の数値が伸びたということは、朱六の子の規範意識の向上とも受け取れ、非常に喜ばしいことであります。今後は、「あてはまる」がもっと増えるよう、学校では、教職員が同じ目線で子どもたちを見るようにし、学校全体でよりよい「価値づくり」をしていきたいです。そのことが自尊感情や自己有用感の向上にもつながっていくと思います。

【項目17】  
『学習した内容や学校の様子をおたよりで伝える』について、「よく出来ている」「大体出来ている」という回答の合計は前回とほぼ変わりませんが、「よく出来ている」という回答が前回よりも減りました。今回の自由記述欄には、「おたよりやホームページ等の充実により、いろいろと学校の様子が分かった。」というようなご意見も書いていただきましたが、まだまだ十分ではないと認識しました。

今後さらに学校の様子がお伝えできるようしていきます。保護者の皆様も、お忙しいとは存じますが、学校で行われる行事や取組に積極的に足を運んでいただき、実際に子どもたちの様子も見にきてください。

【教職員の自己評価について】  
学級担任以外では回答できない項目もあり、その場合は、集計に入っていません。

教職員の回答全般において、「**大体出来ている(どちらかといえばそう思う)**」が非常に多いです。今後の教育活動において、すべての項目に自信をもって「**出来ている(そう思う)**」がつけられるよう、努力してまいりたいと思います。



今回も、学校評価の自由記述欄には、朱六校教育について、貴重なご意見をいただきました。

今後の朱雀第六小学校教育の推進の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

